

トマト栽培の安定した
収穫への土作り

実家のトマト栽培に加わり今年で5年目を迎えた大嶋健さんはこれまで薬剤消毒や米ぬか／アルコール太陽熱消毒などを実施したものの一部のハウスで青枯病が抑えきれず悩んでいました。部会の研修会で還元消毒のメカニズムや微生物資材コフナを改めて知り、18年夏にコフナと低濃度エタノール等を組合せたコフナ・ソーラー法を実施しました。収穫が始まり、施設の物理的栽培環境で苦戦するものの、青枯病など土壌病害の発生はほとんどありません。大嶋さんの経営モットーは「安定生産」です。実現していくためには品種選びや施肥だけでなく、微生物も要因のひとつと捉え、いかに土を大事にしているかを考えています。

安定生産、安定供給の実現には
土壌微生物を活かした土づくり

コフナ[®]

人はもちろん、水や土にも気を遣った
環境負荷を考慮したトマトづくり!!



栃木県鹿沼市・大嶋健さん

コフナ使用方法

品種：麗容(台木:がんばる根ベクト)
定植：8月下旬
収穫：11月上旬～7月上旬
反収：23～24ト(目標30ト)
誘引：ハイワイヤー方式21～22段獲り

トマト終了後、残渣は全て持ち出し。コフナ+乾燥堆肥+低濃度エタノールを土壌に投入し、7/22～8月中旬の間で還元消毒型コフナ・ソーラー法を実施。

コフナ・ソーラー法による線虫および微生物群密度変化(深さ40cm付近までの土壌)

	全線虫	根こぶ線虫	フザリウム	青枯病菌
実施前	596	423	200	2,000
実施後	1	ND	ND	ND

※線虫は頭/土壌20g、フザリウム・青枯病菌はcfu/土壌1g
データ提供(公財)園芸植物育種研究所/門馬氏

コフナ農法普及協議会 事務局/ニチモウ株式会社内

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20-2

TEL.03-3458-4369 FAX.03-3458-4329

E-mail: info@cofuna.jp WEB: http://www.cofuna.jp

